



発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号
TEL 0877 (62) 1022 FAX 0877 (62) 1553
E-mail chusannokai@pref.kagawa.lg.jp URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/chusannokai/>

令和元年度 中讃農業改良普及センターの活動から

イチゴの施設内環境データを活用した技術向上支援(綾歌南部苺部会)



綾歌南部苺部会は昭和44年に設立され、令和元年には50周年を迎えた歴史のある部会です。ベテラン生産者の多い部会ですが、新規にイチゴ栽培に取り組む若手生産者の技術向上のために平成27年から学習会を開催して定期的な活動を行っています。

中讃農業改良普及センターは、学習会に講師として参加し、初期の収量に影響する花芽分化等の生理や病害虫防除に関する講義を行ってきました。また平成29年からは、開発中であった圃場データの収集システムを活用して、圃場の温度や炭酸ガス濃度等の環境情報と暖房機、換気扇、炭酸ガス発生機等の稼働実績を解析し、より良い環境制御のために情報提供しています。

圃場データの収集システムは「さぬきファーマーズステーション」として完成し、新たに「らくちんシステム」を導入する生産者の技術向上支援につながると考えています。



学習会の様子

綾歌南部地区における切花ヒマワリの 安定生産に向けた取り組みについて

香川県は、切花用ヒマワリを年間約180万本出荷している全国第3位の主産地です。綾歌南部地区では、平成24年から夏季の間作作物として栽培されています。出荷は6月第3日曜日の父の日向けを中心に行われており、令和元年は9戸の農家が栽培しました。

普及センターでは、JAと連携して一部のほ場で問題となっていたべと病対策や、品種バリエーションの拡大に向けて新たな推進品種の現地試作に取り組みました。

べと病対策では、耐病性品種の現地試験を行ったところ、発病率が低く、べと病対策に有効であることが分かりました。



巡回の様子



栽培講習会の様子

また、品種バリエーションの拡大については、「ビンセントオレンジ」の栽培特性を調査しました。昨年度の調査では、「ビンセントオレンジ」は、市場性が高く、主力品種に比べて開花揃いが良いことから、収穫作業の分散が可能であることが分かりました。

今年度はべと病耐性品種や「ビンセントオレンジ」の導入が始まるため、さらに支援を強化し、高品質安定生産を目指します。



推進品種「ビンセントオレンジ」



太陽の光をたくさん浴びた
香川のヒマワリを「父の日
プレゼント」として贈ってみて
はいかがでしょうか。

新たに地域のリーダー「農業士」が認定されました

香川県では、自らも農業のプロとして優れた農業経営を営む傍ら、地域の農業振興のリーダーとして農業後継者の育成や農村地域活動を積極的に行っている農業者を「香川県農業士」、次世代の農業の担い手として活躍が期待される青年農業者を「香川県青年農業士」として認定しています。

中讃地域から新たに綾川町の岡田浩二さんが農業士として、綾川町の太田卓人さんが青年農業士として認定され、4名の方が再認定されました。また、2名の方に名誉農業士の称号が付与されました。

今後、ますますご活躍されることを期待いたします。

農 業 士



綾川町
岡田 浩二さん
〈経営品目〉施設花き

青年農業士



綾川町
太田 卓人さん
〈経営品目〉養豚

新しく登録された「むらの技能伝承士」を紹介します。

(令和2年4月1日登録)

「むらの技能伝承士」とは、高齢者の皆さん方の優れた経験・知識・技術など多彩な能力を十分に発揮し、いきいきと活動できる地域社会を築くことを目的に香川県が設けている制度です。

こんな方がむらの技能伝承士です

- 農林水産業・農山漁村に関する優れた生産・生活技術を有している人
- 要請に応じて技術伝承・交流活動が可能であり積極的な指導活動が期待できる人
- 農林水産業の振興、農山漁村生活の向上に意欲的に取り組んでいる人



【技能内容】食生活
丸亀市 **大林 富子**さん

* 「香川県むらの技能伝承士」制度については、普及センターまたは市町農林水産主務課にお問合せください。

退職者・転出者のお知らせ

お世話になり、ありがとうございました。

村尾 由佳 (農業経営課へ)
村上てるみ (農業試験場へ)
大西 智司 (退職)

高木 一生 (西讃農業改良普及センターへ)
渡辺 悠介 (農業生産流通課へ)
十鳥 幹雄 (退職)

山下 将吾 (東京事務所へ)

